

<報道提供>

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第9報)

(7月6日 13時00分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点(海岸から約2km上流)から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 県災害対策本部の活動状況

3日12:00 県災害対策本部を設置

15:30 災害救助法施行令第1条第1項第4号の適用を公示

6日06:00 (自衛隊、消防、警察救助活動再開)

3 人的・物的被害の状況 (7月6日 12時00分現在)

(1) 人的被害

現在の安否不明者 24名

(うち、安否不明者の情報提供4件あり⇒現在、熱海市にて確認中)

安否不明者(64名)を公表後、本人、知人等からの連絡により生存確認 41名

新たに住民登録以外の安否不明者1名の追加情報あり

死者:4名(女性4名) (7月6日 12時00分現在)

救助者:26名(男性12名、女性14名)

うち、負傷者3名(軽傷1名、2名は死亡)

避難者:指定避難所以外 562名

・ニューフジヤホテル(伊東園) 507名

・ホテルニューアカオ 55名

指定避難所 15名

・第一小学校 15名

(2) 物的被害

被害棟数:約130棟(127世帯、215名)

4 ライフラインの状況

ガス：熱海市伊豆山の一部で供給停止

水道：熱海市伊豆山の全域で断水（最大1,100件程度）

※応急給水・・・4日から簡易水槽（5カ所）の設置、給水車（4台）によるピストン搬送

通信：正常

電気：伊豆山地区の被災地域の一部で供給不可

5 関係機関の派遣状況 （7月6日 13時00分現在）

○自衛隊

活動隊	活動人数	備考
陸上自衛隊	1 隊 63名	新幹線北側上流から下流に向けて活動中（消防合同）
	1 隊 73名	新幹線北側下流から上流に向けて活動中
	1 隊 28名	在来線一帯で重機を活用しつつ活動中（警察共同）
	その他	浄水管理センターにて部隊の活動を統制及び支援
	航空部隊 UH-1ヘリ 1 ドローン 3	ヘリポートは浄化センター ドローン 7:00～17:00（常時 3 機飛行） 現場上空を映伝
航空自衛隊	50名 ドローン 6 救助犬 5匹	ホテルリゾートピア熱海第2駐車場の北東から南東でドローンを活用しつつ活動中
		ホテルリゾートピア熱海第2駐車場の北東から南東で救助犬を活用しつつ活動中

○消防

消防機関の活動概況

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	静岡市消防局 指揮支援隊	1 隊 6 名	熱海市消防本部で活動中
	静岡県大隊	約 40 隊 （約 160 名）	新幹線法面上流で活動

区分	活動隊	活動人数	備考
県外	横浜市消防局 統括指揮支援隊	1 隊 7 名	静岡県庁で活動中
	東京都大隊	約 70 隊 (約 300 名)	新幹線法面上流で活動
	神奈川県大隊		新幹線法面下流で活動

- ・ 熱海市消防本部85名・熱海市消防団180名活動中
- ・ 逢初川（あいぞめがわ）
右岸：下流に向かって右側（南西方向）
左岸：下流に向かって左側（北東方向）
- ・ 活動開始（6:00）新幹線北側を重機等活用し重点検索予定。

○海上保安庁

6日「かの」、「いず」計2隻が搜索

○警察

- ・ 本日午前6時から県機動隊、管区機動隊、広域緊急援助隊（警視庁、三重、新潟）が搜索実施
- ・ 広域緊急援助隊交通部隊等16人は、交通規制を5カ所、交通情報収集（オフロードバイク）3台
- ・ 安否確認班10人、遺体収容運営班36人、機動通信班14人

所属		人数
警視庁		168人
新潟県		37人
三重県		24人
静岡県	県機動隊	<u>35人</u>
	管区機動隊	<u>105人</u>

○その他の関係機関の活動状況（7月6日の予定）

機関名	活動状況
内閣府調査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISUTによる災害対応機関の情報集約支援活動 ・ 日本赤十字社と共に熱海市における医療・保健・福祉のニーズ調査
総務省東海総合通信局	情報通信（特に携帯基地局の状況）、放送の確保に係る情報収集及び関係事業者との調整

機 関 名	活 動 状 況
国土交通省国土地理院 中部地方測量部	静岡県及び関係機関に対して、災害対応のための地図測量分野における技術的支援を実施
国土交通省 中部地方整備局	<p data-bbox="616 367 1423 407">< 現場監視 ></p> <ul data-bbox="616 407 1423 730" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="616 407 1423 479">・ドローン：砂防調査班②と共に源頭部へ行き、ドローン撮影 <li data-bbox="616 479 1423 600">・照明車：夜間作業として源頭部付近に1台設置稼働。4台は、かんぽの宿（熱海別館）で待機中 <li data-bbox="616 600 1423 730">・監視カメラ：砂防調査班①と残りの2台（中流部右岸、R135号逢初橋付近。2台設置済み）のカメラ設置 <p data-bbox="616 730 1423 770">< 現地調査（砂防調査班） ></p> <ul data-bbox="616 770 1423 981" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="616 770 1423 810">・残りの2台のカメラ設置 <li data-bbox="616 810 1423 896">・新規崩落の危険がある箇所をドローン調査 <p data-bbox="616 896 1423 981">ドローン班と同行・連携状況によって砂防調査へ移行</p> <p data-bbox="616 981 1423 1021">< 現地調査（港湾班） ></p> <ul data-bbox="616 1021 1423 1061" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="616 1021 1423 1061">・ドローンで状況調査
日本赤十字社	内閣府調査チームと共に熱海市における医療・保健・福祉のニーズ調査
D M A T	<ul data-bbox="616 1180 1423 1328" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="616 1180 1423 1252">・国際医療福祉大学熱海病院、熱海保健所、県庁に、県内災害拠点病院から計6チームが参集し活動 <li data-bbox="616 1252 1423 1328">・避難住民の健康状態確認のため、避難先のホテルに2チームを派遣
林野庁	静岡県林務担当部局への技術支援